

# ひかりと いのちの なかま

光寿院住職 酒生文弥

## 「念」..絶対の「今」を仰ぐ「心」

### 過去・現在・未来

新しき令和の御代も早半年が過ぎ、今年もあと僅か、光陰矢の如しを痛感します。行く年を顧み、来る年を望む裡に、ネコ(禰子、神主)もシャクシ(釈氏、僧侶)も駆け

回る師走。クリスマスから新年へ家族・友人と楽しみごとを分かち合いながら、世界中が来し方を振り返り行く末を展望する過去と未来の踊り場です。

私たちは過ぎ去った過去にウジウジし、未だ来ていない未来に怯

えがちですが、現実に在るのは現在だけです。今を仰ぐ心を「念」と象形します。「沸」くは、水が水蒸気という高次元に向かう(弗)意味なので、人がより高い次元に向かう姿が「佛」となります。「念仏」とは、絶対現在に頂いている量りきれない恵みに気づいて、最大の感謝を込めて今を生かされ抜くことです。お日様、空気、水、食べ物、自分を愛してくれる人々、仕事。忙(心が亡ぶ)殺され、気づかずに過ごしがちな今には、宇宙・自然・社会から量り知れない光と命が常に届いていく。「ああ、こんな風に(如)来てくれる」という気づきを「如来」と称します。

### 南無阿弥陀仏の相(すがた)

今ここにある無量の恵みに気づくとき、心は「晴々と澄み渡った」感謝で満たされます。かつて冬季五輪が開かれたカナダのレイク・プラシッド(Lake Placid)晴々と澄み渡った湖)をご記憶の方もおられるでしょうが、欧米の言語はすべて古代インドのサンスクリット語に起源します。英語で placid mind と訳され「晴々と澄み渡った心(心澄浄)」を意味する チッタ・プラサー

ダは、「気づき(信)から生まれ、賜った心」として経典に「信心」と漢訳されました。

計量することをメーター (meter) と言い、否定の接頭辞、アをつける とア・ミーターで「計量しきれない」となり、阿弥陀と漢訳します。これにユス(アユールヴェーダの「ユル」、いのち)とヴァ(ひかり)がついて、無量寿・無量光となり、最後に タターガタ (tatagata、英語で thus coming) 「如来(こんな風に来ている)」で締め括って「阿弥陀如来」となるのです。

インド人の挨拶 ナマス・テーは有名ですが、ナモは「自分をお任せする」、テーは仏語 ジュ・テー・ムのテーと同じく「あなた」を意味します。あなたを信頼して身を委ねます、の意味です。ナモは南無と音意され、南無阿弥陀仏(量りきれないのちとひかり)からこんな風に到来している恩恵に感謝してお任せする) という称名念仏が生まれたのです。ナモは、小さな有限の私のいのちを無限で永遠のいのちの根源にお帰しする、と言う意味で「帰命」と訳されます。空海に帰命すれば南無大師遍照金剛、法華経に帰命すれば南無妙法蓮華経で、この二つは日本人で創られた表現です。

# 今という時代—AIR 文明台頭をどう受け止めるか—

AI（人口知能）・IoT（モノのインターネット）・Robot（ロボットの頭文字から、今私たちが生きている人類史上最大の文明革命期をAIR文明と名付けます。かつて産業革命では、職を失うことを恐れた単純労働者が抵抗して、機械破壊運動（ラッター運動）などが行われたことが知られています。が、加速度的に台頭するAIR文明は「専門家」の職を容赦なく奪います。法律家・会計士・医師・官僚などが高度のエキスパートとして行っている仕事はすべてAIRに置換されて無くなっていくでしょう。



「政治家」もそうなるかも知れません。智慧と慈悲に疎い「人知」は、戦争・環境破壊でおぞましい人類史を描いて来ました。かけがえのない「宇宙船地球号」の積載する限られた資源とその加工・分配（文明）を、計量的に管理・計画・制御して、生命と人類に持続可能な最適生産・最適分配を実現する。これは、かつて希望され試行された、人知によるあらゆる社会主義的な計画経済（結局、一元的・独善的な官僚独裁体制）を、はるかに凌駕する生命・人類福祉世界実現への強力な可能性です。

UBI（universal basic income 普遍的基礎所得）を十分に整備・実践できれば、人間は史上初めて他律的な労働から解放されながら、十分な福祉生活を享受できる筈です。すなわち、人類は初めて全員がギリシャ・ローマの貴族・市民のような有閑生活を楽しめる様になりえるのです。DDI（direct democracy initiative）つまり直接民主制も実現可能でしょう。

プログラミングによるAIRの創り方（出産）とAVR（拡充現実・仮想現実）によるAIRとのインターアクション（子育て）の成否が、AIR文明を地上天国に近づける

れるか、それともSkynet（映画「ターミネーター」の世界）の地獄にしてみようかのカギです。つまり、私たち人間には、愛・慈悲・智慧の発揮の可否が大きく突きつけられて来ます。ダライ・ラマ法王は現在、世界のIT天才たちとの対談に努められ、AIを如何に仏陀にできるかに専心されています。私たち一人ひとりが、それぞれにできる範囲で、気づき・感謝・利他の実践を求められている。それが、文明激変時代に生きる私たち全員の喫緊の課題なのです。

## 過去と未来の狭間で

宇宙は光から産まれました（ビッグバン）。ひかりが物に転じ、太陽系・地球・海陸が産まれ、海からのちが産まれ、進化を遂げて私たちがいます。いま私たちホモ・サピエンスは、近現代（モダン）から大きく脱近代（ポスト・モダン）に向かう大転換期に臨んでいます。日本は、経歴主義に基づいて立憲君主制を維持し、「万世一系」の象徴天皇制を共同体統合の権威としています。日本人は、「いのちは全けがえのないもの」と言う価値原

理を大切にしてきたのです。モダンとは「とあるモードの」という意味です。破滅的な戦争・紛争・経済破綻を繰り返してしまったモダンを、モードを如何に高次元に昇華（本当の意味でのアセンション）できるかが一人ひとりに問われています。浄土と地獄へのスイッチを握らせてもらっている光榮ある世代なのです。

どうか、それぞれの今を高く仰がれて、「忘」年会を「望」年会と楽しまれてください。

### さこうふみや 酒生文弥

- 1956年9月8日 福井市篠尾町 浄土真宗本願寺派浄福寺（753年創建）に生まれる
- 1980年3月31日 早稲田大学 政治経済学部卒業
- 1982年3月31日（勸松下政経塾（第1期生）修了）
- 1987年3月31日 龍谷大学大学院博士後期課程修了（仏教学・比較宗教学）
- 同大学院から昭和59年9月、昭和60年8月カリフォルニア大学大学院宗教学研究科へ文部省奨学生留学
- 1986年1月〜12月 ニュージャージー州立ラトガース大学大学院ヘクター奨学生留学
- 浄土真宗本願寺派 得度（僧籍）
- 教師（任職資格） 頭座（僧侶最高位）
- 光寿院 [www.kojuin.com/](http://www.kojuin.com/)